

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価計画

学校評価表作成について変更した点は朱書きしています

達成度(評価)
 A: 十分達成できている
 B: おおむね達成できている
 C: やや不十分である
 D: 不十分である

学校名	唐津市立久里小学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 全学級で授業研究会や校内自主研修会を実施し、授業改善に努め、学方向上を図りたい。 児童の自己肯定感を高める取組やよりよい人間関係作りの取組の継続、地域と連携した体験活動の充実に努めていきたい。 運動・スポーツの楽しさを味わわせながら、運動習慣を形成していく必要がある。 年間を通して時間外在校等時間の上限を遵守する雰囲気醸成されつつある。今後も業務の見直しを適宜行い、働き方改革を推進していきたい。
2 学校教育目標	「豊かな心をもち、夢の実現に向かって、自律的に活動する久里の子の育成」 ～元気・笑顔・思いやりがあふれる学校～
3 本年度の重点目標	①授業改善 ②特別支援教育の充実推進 ③ICT活用の推進 ④「豊かな生活」の実現のための働き方 ⑤保護者・地域と連携し、信頼される学校づくりの推進

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価		主な担当者	
(1)共通評価項目				進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組				実施結果		評価
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師70%以上	・校内研究の視点を全教職員で共有するとともに、全学級で研究授業を実施し、日々の授業改善の意識を高める。 ・授業で使った学習計画やワークシートをサーバーに保管し、いつでも誰でも利用可能な状態にする。					・学力向上対策コーディネーター ・研究主任	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「学校は、豊かな心を身に付ける教育活動を行っている」と回答した保護者80%以上。 ○「家庭で、道徳の授業で使った資料を読んだり、お子さんと話したりしている」と回答した保護者80%以上	・地域と連携した体験活動や学校行事等を工夫する。 ・平和集会後、平和についての感想を書かせ、掲示する。 ・授業参観での道徳授業を年1回以上実施する。					道徳教育推進教師 特活部	
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教職員90%以上	・毎月初めに「なかよしアンケート」、年2回Q-Uを実施し、分析・活用する。 ・生徒指導協議会及び気になる児童の情報共有を毎月1回行う。					生活部	
●健康・体づくり	●◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童70%以上 ●◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童80%以上	・年間を通して、全職員で児童の頑張りを認める声掛けを行う。 ・仲間作り、縦割り班での異学年交流、全校での集会活動等を通して、よりよい人間関係の構築を図る。					特活部	
	①「運動習慣の改善や定着化」 ②「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	①授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童60%以上 ②「健康に良い食事をしている」児童90%以上	・持久走大会、なわとび大会等の体育的行事を設定し、それぞれの児童がめあてをもって運動に取り組めるようにする。 ・日常の学校生活での外遊びを推奨する。さらに、「スポーツチャレンジ」の取組を推奨することで、手軽な運動に進んで取り組めるようにする。 ・食に関する授業を実施する。 ・給食委員会が中心となり、食事の栄養やバランス等を考える取組を行う。					保体部	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日の時間厳守。(金曜日) ・スクールサポートスタッフの有効活用。					管理職	

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--